

日 時 平成23年3月2日(水) 午前10時 開 会

出席議員 (15人)

1番 大久保 朝 泰	2番 大 溝 雅 昭
3番 工 藤 俊 広	4番 工 藤 和 子
5番 工 藤 禎 子	6番 村 上 啓 二
7番 北 山 一 衛	8番 佐々木 隆
9番 後 藤 秀 憲	10番 山 田 鉦 一
12番 中 田 博 文	13番 斎 藤 直 文
14番 工 藤 賢 治	15番 福 士 幸 雄
16番 村 上 隆 昭	

欠席議員 (1人)

11番 鳴 海 泰 三

出席要求による出席者職氏名

市 長 鳴 海 広 道	副 市 長 玉 田 芙佐男
総務部長兼 選挙管理委員会事務局長 鳴 海 勝 文	企画財政部長 成 田 耕 作
健康福祉部長 兼福祉事務局長 齋 藤 繁 人	農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 兼農業委員会事務局長 小田桐 正 樹
建設部長 三 浦 裕 寛	建設部理事 公営企業担当 角 田 祐 一
会計管理者兼 会計課長 福 坂 直 栄	総務課長兼 検査指導監 永 田 幸 男
人事課長 沖 野 俊 一	財政課長 工 藤 伸太郎
国保年金課長 福 士 勝 彦	福祉総務課長 鎌 田 幸 男
農林課長兼 バイオ技術センター次長 工 藤 秀 雄	農業委員会会長 佐 山 秀 夫
選挙管理委員会 委員長 乗 田 兼 雄	監 査 委 員 廣 瀬 左喜男
教育委員会 委員長 篠 村 正 雄	教 育 部 長 久 保 正 彦
黒石病院 事業管理者 柿 崎 武 光	黒石病院 事務局長 村 元 英 美

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成23年第1回黒石市議会定例会議事日程 第1号

平成23年3月2日（水） 午前10時 開 議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 報告第 2 号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第7号）について
- 第 4 報告第 3 号 権利の放棄について
- 第 5 報告第 4 号 権利の放棄について
- 第 6 議案第 4 号 黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 7 議案第 5 号 黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 8 議案第 6 号 黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 9 議案第 7 号 黒石市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 第10 議案第 8 号 黒石市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について
- 第11 議案第 9 号 黒石市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 第12 議案第10号 国土利用計画黒石市計画（第4次）の策定について
- 第13 議案第11号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第14 議案第12号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第15 議案第13号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第16 議案第14号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第17 議案第15号 平成22年度黒石市一般会計補正予算（第8号）
- 第18 議案第16号 平成22年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 第19 議案第17号 平成22年度黒石市老人保健特別会計補正予算（第2号）
- 第20 議案第18号 平成22年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第21 議案第19号 平成22年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 第22 議案第20号 平成22年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算（第2号）
- 第23 議案第21号 平成22年度黒石市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- 第24 議案第22号 平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第3号）
- 第25 議案第23号 平成22年度黒石市水道事業会計補正予算（第1号）
- 第26 議案第24号 平成23年度黒石市一般会計予算

- 第27 議案第25号 平成23年度黒石市国民健康保険特別会計予算
第28 議案第26号 平成23年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算
第29 議案第27号 平成23年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算
第30 議案第28号 平成23年度黒石市介護保険特別会計予算
第31 議案第29号 平成23年度黒石市観光施設事業特別会計予算
第32 議案第30号 平成23年度黒石市簡易水道特別会計予算
第33 議案第31号 平成23年度黒石市温泉供給事業特別会計予算
第34 議案第32号 平成23年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算
第35 議案第33号 平成23年度黒石市土地取得特別会計予算
第36 議案第34号 平成23年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算
第37 議案第35号 平成23年度黒石市水道事業会計予算
第38 議案第36号 平成23年度黒石市下水道事業会計予算
第39 議案第37号 平成23年度黒石市中川財産区会計予算
第40 議案第38号 平成23年度黒石市上十川財産区会計予算
第41 議案第39号 平成23年度黒石市追子野木財産区会計予算
第42 議案第40号 平成23年度黒石市温湯財産区会計予算
第43 議案第41号 平成23年度黒石市袋財産区会計予算

市長提案理由説明

- 第44 予算特別委員会設置について

出席した事務局職員職氏名

事務局 長 境 裕 康
次 長 三 上 亮 介
主幹兼議事係長 太 田 誠
議事係主査 山 谷 成 人

会議の顛末

午前10時02分 開 会

- ◎議長（斎藤直文） ただいまから、平成23年第1回黒石市議会定例会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

-
- ◎議長（斎藤直文） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において4番工藤和子議員、12

番中田博文議員を指名いたします。

◎議長（斎藤直文） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から3月15日までの14日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、会期は14日間と決定いたしました。

◎議長（斎藤直文） この際、諸般の報告をいたします。

まず、議長、事務局長において、平成22年度青森県市議会議長会第3回定期総会に出席いたしましたので、別紙のとおり御報告いたします。

次に、監査委員から、例月出納検査報告、定期監査報告、財政援助団体監査報告、公の施設の指定管理者監査報告が提出されました。よって、その写しをお手元に配付しておきましたので、御了承願います。

◎議長（斎藤直文） 日程第3 報告第2号から、日程第43 議案第41号まで、合わせて41件を一括上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

登壇

◎市長（鳴海広道） 平成23年第1回定例会の開会に当たり、市政運営の基本方針並びに所信の一端を申し述べさせていただきますとともに、平成23年度当初予算案等提出議案41件の概要について、順次御説明申し上げ、審議の参考に供したいと存じます。

私は、市長就任以来、一貫して「財政再建」を最重要課題としてとらえ、誠心誠意、全力で職務を全うしてまいりました。

その結果がようやく実を結びつつあり、一般会計は平成20年度、21年度と2年連続で黒字決算となったほか、「財政健全化法」4指標の判断基準もクリアできましたことは、これまでの施策展開に間違いはなかったと考えております。

目標に掲げている平成27年度での全会計黒字を達成するためには、企業会計の資金不足、赤字を抱える特別会計の存在、高どまりにある実質公債費比率など、いまだに懸念される材料も多いことから、引き続き財政健全化の取り組みを着実に進めてまいります。

さて、我が国の経済状況であります、昨年12月の日銀短観によりますと、大企業の景況感をあらわす「業況判断指数」は製造業・非製造業とも7四半期ぶりに悪化し、中小企業は製造業が改善しているものの、非製造業は6四半期ぶりに悪化するなど、依然として不況にあえいでいる感があります。このことがそのまま雇用問題につながっているほか、地方経済にも大きな影を落としております。

直近では、北アフリカ・中東各国の政情不安に伴う原油価格の高騰、不安視されている国の当初予算、TPP交渉の行方など、混迷の度合いがさらに強まっており、こうした中での平成23年度の予算編成には、大変苦慮したところでございます。

不安材料はありますが、国の平成23年度地方財政計画の「地方公共団体の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額は、平成22年度を下回らないよう確保した」とする指針を前提とし、「すべての会計の財政健全化」、「自主財源の確保」、「将来負担の軽減」という「行財政運営方針」を基本に、新年度がスタートとなる「第5次黒石市総合計画」の基本構想に基づく予算編成としました。

その結果、平成23年度の一般会計当初予算案は、財政調整基金を約7,500万円取り崩した予算となりましたが、151億9,400万円で対前年比5億3,800万円、3.7%の増となりました。この一般会計と企業会計、特別会計の合計額は、311億4,389万5,000円、2%増の予算規模となっております。

次に、新年度の重点施策であります、新規事業につきましては、第5次黒石市総合計画基本構想の「まちづくりの目標」ごとに御説明申し上げます。

まず、「健やかに暮らせるまち」としては、「CT更新事業」で、具体的には、黒石病院にマルチスライスCTを導入するものであります。

次に、「活力にあふれるまち」では、県の緊急雇用対策事業を活用した「愛Bリーグ・全国やきそばサミットの開催」のほか、外国語を併記した「観光案内板の整備」、観光事業補助金として「こけし灯ろう助成事業」を実施したいと考えております。

「心豊かな人を育てるまち」では、「国際姉妹都市交流事業」であります、高校生を永川市に派遣し、ホームステイを体験させたいと思います。

「自然と調和するまち」では、「黒石市稲わら有効利用事業」になりますが、自走式ローラーを導入する生産組織等に対し、補助するものであります。

次に、継続事業であります、少子化対策としての「小学校新入学児童支援事業」や「第3子以降3歳未満児の保育料無料化」のほか、「子宮がん・乳がん検診促進事業」、「くろいし共通プレミアム商品券発行事業補助」、「学校施設耐震補強設計事業」、家庭教育講座や学校教育社会教育連携研修会を実施する「地域・家庭教育向上事業」、子ども宿泊体験学習会や黒

石まるかじり体験塾などを実施する「青少年人材育成事業」を重点事業といたしました。

ここで、市民文化会館及び黒石公民館の再開問題についても触れておきたいと思います。

平成23年度での改修工事着手について、全面再開、一部再開、財源など、多方面にわたり検討した結果、非常に残念ではありますが、断念せざるを得ないという結論となりました。

再開の改修工事には、数億円の財源が必要となり、先ほども申し上げましたが、平成23年度の当初予算は、約7,500万円の財源が不足している状況にあり、これらの工事費をすべて一般財源で賄うことはできません。仮に、改修を行うために起債を発行すれば、3年後には実質公債費比率が25%を超え、「財政健全化団体」に該当する見込みとなります。

また、平成23年度以降、小・中学校の耐震補強工事や体育館の改修工事に約13億円が見込まれるため、財政健全化の取り組みと並行して実施していかなければならないこの厳しい現状を乗り越えるためには、やむを得ないものと考えております。

今後の財政環境を整えるために、平成22年度に1億6,000万円、平成23年度に1億5,000万円の任意繰上償還を実施し、実質公債費比率の抑制に努め、「一日も早い再開」への足がかりにしたいと思っております。

以上、重点施策などを御説明申し上げましたが、市税収入の落ち込みや企業会計等への補助金増などにより、財政調整基金を取り崩したものの、各種施策の順位づけを明確にし、今後の見込みも想定した予算編成をいたしましたので、従前に引き続き、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、各議案の説明に入りたいと思います。

まず、報告第2号は、処分第2号「平成22年度黒石市一般会計補正予算（第7号）について」であります。歳入歳出それぞれ989万5,000円を追加し、予算の総額を157億5,699万3,000円にしたものでございます。

歳出は、2款 総務費で財政調整基金積立金1,207万1,000円を減額し、4款 衛生費でワクチン接種緊急促進事業に係る経費等2,196万6,000円を追加、歳入は、14款 県支出金989万5,000円を追加いたしました。

次に、報告第3号「権利の放棄について」は、黒石市債権管理条例第13条第1項の規定に基づき、簡易水道料金8件の私債権を放棄したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

報告第4号も、「権利の放棄について」であります。報告第3号同様、黒石市債権管理条例第13条第1項の規定に基づき、水道料金65件の私債権を放棄したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

次に、議案第4号「黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定につい

て」は、黒石市家庭教育推進協議会の設置に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

議案第5号「黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について」は、厳しい財政事情が続くものと判断し、市長、副市長、識見を有する者の中から選任された監査委員、教育長及び病院事業管理者の給料月額並びに非常勤職員の報酬月額を引き続き減額することについて、所要の改正をしようとするものであります。

議案第6号の「黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、一般職職員の給料月額を減額して支給するための減額率及び特例期間の改定並びに、期末手当及び勤勉手当の減額の特例を廃止するため、所要の改正をしようとするものであります。

次に、議案第7号「黒石市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について」は、出産育児一時金に関する特例措置が、平成23年3月で終了することに伴い、少子化対策として同じ内容の措置を講じるため、所要の改正をしようとするものでございます。

議案第8号「黒石市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について」は、農業集落排水事業の経営健全化を図るため、所要の改正をしようとするものであります。

次に、議案第9号「黒石市下水道条例の一部を改正する条例制定について」は、下水道事業の経営健全化を図るため、所要の改正をしようとするものでございます。

議案第10号は、「国土利用計画黒石市計画（第4次）の策定について」であります。国土利用計画法第8条第1項及び第3項の規定に基づき、黒石市の区域における国土の利用に関する基本的事項について策定するものでございます。

議案第11号から議案第14号までは、いずれも「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」であります。人権擁護委員法第6条第3項の規定により、人権擁護委員を推薦しようとするものであります。

次に、議案第15号は、「平成22年度黒石市一般会計補正予算（第8号）」であります。歳入歳出それぞれ3,776万4,000円を追加し、予算の総額を157億9,475万7,000円にしようとするものでございます。

まず、歳出の主なものは、2款 総務費の財政調整基金積立金1億4,355万8,000円、減債基金積立金9,958万4,000円、市長選挙費1,576万8,000円の減額、4款 衛生費の医師不足による経営支援として黒石病院事業会計補助金2億5,000万円、高料金対策に係る水道事業会計補助金1,158万2,000円の追加などでございます。

歳入の主なものは、事業の確定等に伴う国庫支出金、県支出金、諸収入の追加等であります。

議案第16号の「平成22年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」は、歳入

歳出それぞれ2,308万円を追加し、予算の総額を49億9,148万6,000円にしようとするものでございます。

歳出は、療養給付費等の不足により保険給付費を追加、歳入は、繰入金を追加しようとするものであります。

次に、議案第17号は、「平成22年度黒石市老人保健特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ1,000円を追加し、予算の総額を1,469万6,000円にしようとするものでございます。平成22年度で本会計が終了することに伴う補正であります。

議案第18号は、「平成22年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ2,044万4,000円を減額し、予算の総額を2億8,597万9,000円にしようとするもので、青森県後期高齢者医療広域連合負担金がおおむね確定したこと等に伴う補正であります。

議案第19号は、「平成22年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）」であります。歳入歳出それぞれ1,080万円を追加し、予算の総額を29億1,657万2,000円にしようとするもので、施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金の追加等に伴う補正でございます。

次に、議案第20号は、「平成22年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ566万5,000円を追加し、予算の総額を1億8,392万4,000円にしようとするもので、揚湯ポンプ修理に係る繰入金の増額等に伴う補正でございます。

議案第21号は、「平成22年度黒石市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」であります。歳入歳出それぞれ41万円を追加し、予算の総額を1,995万7,000円にしようとするもので、繰越金確定による繰入金返還に伴う補正でございます。

次に、議案第22号は、「平成22年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第3号）」であります。収益的収入及び支出のうち、収益的収入を1億円減額し、予算の総額を48億4,566万円にしようとするものでございます。医業収益の見直しによる一般会計からの補助金増額に伴う補正であります。

議案第23号は、「平成22年度黒石市水道事業会計補正予算（第1号）」であります。収益的収入及び支出のうち、収益的収入を1,158万2,000円追加し、予算の総額を8億4,857万2,000円にしようとするもので、高料金対策補助金の確定に伴う補正でございます。

次に、議案第24号は、「平成23年度黒石市一般会計予算」であります。さきに申し上げ

ましたように、平成23年度一般会計予算案は、歳入歳出とも151億9,400万円であり
ます。

まず、歳出から御説明いたします。

1款 議会費は、1億9,801万6,000円ですが、内容といたしましては、議員報酬等の人件費及び議員共済年金に係る共済会給付費5,762万4,000円が主なものでございます。

2款 総務費は、15億290万5,000円です。

3款 民生費は、57億412万4,000円で、主な内訳は、障害者福祉費、老人福祉費などの社会福祉費が23億1,748万8,000円、児童措置費などの児童福祉費が23億6,934万6,000円、生活保護費10億1,729万円です。

4款 衛生費は、12億3,651万7,000円で、主な内訳は、予防費9,252万8,000円、生活習慣病予防対策費5,373万円、病院費4億7,446万7,000円、黒石地区清掃施設組合負担金などの清掃費が3億6,625万7,000円です。

5款 労働費は、9,959万円で、内訳は、実務研修型雇用対策事業委託料8,747万8,000円、黒石市シルバー人材センター補助金1,172万円などです。

6款 農林水産業費は、3億3,974万5,000円で、農業振興費1,337万3,000円、農地費4,570万3,000円、中山間地域農村活性化総合整備事業費5,279万3,000円などが主なものであります。

7款 商工費は、5億9,427万円で、主なものは、黒石市特別保証制度貸付金1億円、商工組合中央金庫貸付金3,000万円、やきそばサミットin黒石大会開催事業3,793万1,000円、観光施設事業特別会計への繰出金が7,237万7,000円、温泉供給事業特別会計繰出金2,474万円などです。

8款 土木費は、11億5,099万5,000円ですが、内容といたしましては、道路維持費1億759万1,000円、道路整備事業費7,155万6,000円、除雪対策費1億6,428万3,000円、雪寒地域道路事業費3,640万円、公園管理費6,046万5,000円、下水道費5億4,871万8,000円、住宅費3,586万円などです。

9款 消防費は、8億760万6,000円ですが、黒石市消防団事務委託料及び黒石地区消防事務組合負担金などを計上したものでございます。

10款 教育費は、11億2,429万7,000円ですが、内容といたしましては、教育委員会事務局費及び指導費を中心とした教育総務費1億7,857万9,000円、小・中学校費5億1,383万8,000円、社会教育費2億8,749万円のほか、幼稚園費、

保健体育費などを計上いたしました。

11款は、災害復旧費であります。

12款 公債費は、各種起債などの償還費用として、24億985万1,000円を計上いたしました。

13款は、予備費であります。

歳入については、市税28億8,414万4,000円、地方交付税64億6,000万円、国庫並びに県支出金合わせて35億9,923万2,000円のほか、地方消費税交付金を初めとする各種交付金や市債7億5,330万円を計上いたしました。

次に、議案第25号は、「平成23年度黒石市国民健康保険特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、46億7,190万2,000円であります。

議案第26号は、「平成23年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、2億9,506万円でございます。

議案第27号は、「平成23年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、1,149万2,000円であります。

議案第28号は、「平成23年度黒石市介護保険特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、28億8,990万7,000円でございます。

議案第29号は、「平成23年度黒石市観光施設事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、7,237万7,000円であります。

議案第30号は、「平成23年度黒石市簡易水道特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、2,185万5,000円でございます。

議案第31号は、「平成23年度黒石市温泉供給事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、3,926万3,000円であります。

議案第32号は、「平成23年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、1,976万3,000円でございます。

議案第33号は、「平成23年度黒石市土地取得特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、8,212万1,000円であります。

本年度同様、土地開発公社経営健全化に向け、旧アクアリゾートパーク整備予定地の一部を、土地開発公社から再取得するためのものがございます。

次に、議案第34号は、「平成23年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が45億5,059万4,000円、収入予定額は47億687万6,000円となっております。

資本的収入及び支出では、支出予定額が9億9,085万9,000円、収入予定額は8億4,805万9,000円となっており、支出に対する不足額は、当年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしております。

議案第35号は、「平成23年度黒石市水道事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が7億2,770万5,000円、収入予定額は8億1,535万8,000円となっております。

資本的収入及び支出では、支出予定額に2億9,076万6,000円を計上し、支出に対する不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしております。

議案第36号は、「平成23年度黒石市下水道事業会計予算」であります。収益的収入及び支出では、支出予定額が6億3,149万5,000円、収入予定額は5億4,516万8,000円となっております。

資本的収入及び支出では、収入支出とも6億5,473万6,000円でございます。

次の議案第37号から議案第41号までは、平成23年度の各財産区会計の予算であります。議案の順に歳入歳出予算の総額を申し上げますと、中川財産区が202万5,000円、上十川財産区780万9,000円、追子野木財産区185万4,000円、温湯財産区2,026万8,000円、袋財産区が7万1,000円でございます。

以上、平成23年度を迎えるに当たっての所信の一端と、議案の内容を簡単に申し上げましたが、会期中には、「副市長の選任について」を追加提案する予定でありますので、ただいま申し上げました議案とあわせて、御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

降壇

◎議長（斎藤直文） お諮りいたします。

ただいま上程いたしました案件については、議事の都合により、後刻審議いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、これらの案件については後刻審議することに決しました。

◎議長（斎藤直文） 日程第44 予算特別委員会設置についてを議題といたします。

お諮りいたします。

先ほど上程いたしました案件のうち、平成23年度各会計予算については、議員全員をもつ

て構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、平成23年度各会計予算については、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議することに決しました。

なお、予算特別委員会は本会議終了後、引き続きこの場所において開きますので、よろしくお願いたします。

◎議長(斎藤直文) この際、お諮りいたします。

議案調査、委員会審査等のため、3月3・4・5・6・7・9・10・11・12・13・14日の11日間、休会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(斎藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、11日間に休会することに決しました。

◎議長(斎藤直文) 本日はこれにて散会いたします。

午前10時38分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成23年3月2日

黒石市議会議長 斎藤直文

黒石市議会議員 工藤和子

黒石市議会議員 中田博文